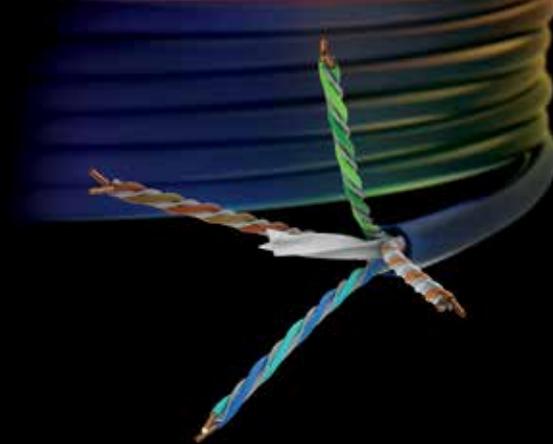


## GigaREACH™ XL

### リスクではなく、ネットワークの到達距離を拡大



#### なぜ？

標準規格に準拠した接続パフォーマンスを確約しながら、規格で定義された100メートルの制限を超えた先にあるデバイスへの接続、およびデバイスへの電力供給に対するニーズが高まっています。ネットワークの到達距離を拡大するためのオプションは存在しますが、いずれも一定レベルのコストとリスクが伴い、わずか数台のデバイスを接続するためにそれらを正当化することは困難です。

#### 何？

SYSTIMAX GigaREACH XLは、100 Mbps/90 Wを200mまで、1 Gbps/90 Wを150mまで、10 Mbps/90 Wを250mまでをサポートすることが保証された、唯一の長距離伝送対応カテゴリ6ケーブル配線ソリューションです。

#### どのように？

独自のUTPツイストテクノロジーにより、一般的なUTPより太い21 AWG導体の使用を可能にし、損失を抑え、標準のカテゴリ6ケーブルと比較してメートル当たりの直流抵抗を半減しています。これにより、距離による信号損失と電圧低下を減少させ、長距離のサポートを保証しています。

#### いつ？

限られた台数のエッジベースのデバイスを迅速かつ容易に、中断を最小限に抑えて実装する必要があるときに最適です。通信室や機器を追加する必要はありません。

#### どこ？

通常、最も近い通信室から100 mを超える距離のエッジにおいて、ネットワークデバイスが信頼できる電力とデータを必要としている場所に対応しています。

#### より遠くに届く

GigaREACH XLソリューションは、100 Mbps/90 Wを最大200m、1 Gbps/90 Wを最大150m、10 Mbps/90 Wを最大250mまでサポートするシンプルでリスクゼロのUTPソリューションです。ネットワーク変更に伴うコストとリスクは最小限に抑えられます。

#### 保証されたパフォーマンス

CommScopeは、アプリケーション保証により長距離伝送のパフォーマンスを保証しているほか、25年の長期製品保証と、オンラインおよびオンサイトで利用可能なテクニカルサポート、トレーニング、教育、リソースでお客様をサポートします。

#### ネットワークを簡素化

1本のケーブルを設置するだけで、通信室やPoEエクステンダー、光学機器、パッチパネルなどを追加する必要がないため、ネットワークの複雑さ、障害点、運用費、実装時間を低減することができます。GigaREACH XLケーブルおよびチャネルは、カテゴリ6の要件をすべて満たしています。このため、構内配線アーキテクチャに容易に統合でき、GigaSPEED<sup>®</sup>ソリューションのSYSTIMAXファミリーと同じ施工ツールや手順、パネル、ジャックを使用できます。

#### 距離拡張への対応手段に新たに追加されたツール

GigaREACH XLソリューションは、Constellation<sup>®</sup>エッジベースプラットフォームとパワードファイバーシステムを含む距離拡張ソリューションのSYSTIMAXポートフォリオに新しく加わったソリューションです。これらのソリューションは、共に未来のハイパーコネクテッドなエッジベースの企業向けネットワークを実現します。

#### なぜ100メートル？

商用ケーブル配線規格では、カテゴリ6ケーブルの最大サポート長は100 mと定義されています。この制限は、ツイストペアメタルケーブル配線の電気特性に基づいています。信号がケーブルに沿って伝送されるにつれ、その強度が低下します。ケーブルが長いほど、信号損失が大きくなります。

SYSTIMAX GigaREACH XL距離拡張ソリューションの詳細情報は、最寄りのCommScope代理店にお問い合わせください。または、[ja.commscope.com/systimax/](https://ja.commscope.com/systimax/)をご覧ください。